

平成30年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	福岡県		市町村類型	Ⅲ-2		指定団体等の指定状況		区分			区分																																																																																																																																																			
								平成30年度(千円)	平成29年度(千円)	区分	平成30年度(千円・%)	平成29年度(千円・%)																																																																																																																																																		
市町村名	芦屋町		地方交付税種地	2-4		財政健全化等	×	歳入総額	8,568,346	11,370,665	実質収支比率	5.4	5.2																																																																																																																																																	
								歳出総額	8,283,757	11,041,264	経常収支比率	98.5	97.0																																																																																																																																																	
								歳入歳出差引	284,589	329,401	(※1)	(103.3)	(101.8)																																																																																																																																																	
								翌年度に繰越すべき財源	83,996	137,345	標準財政規模	3,694,040	3,673,989																																																																																																																																																	
人口	27年国調(人)		14,208		産業構造(※5)	中部	×	実質収支	200,593	192,056	財政力指数	0.39	0.38																																																																																																																																																	
	22年国調(人)		15,369					単年度収支	8,537	11,448	公債費負担比率	10.5	10.3																																																																																																																																																	
	増減率(%)		-7.6					積立金	100	394	健全化判断比率																																																																																																																																																			
住民基本台帳人口(※7)	31.01.01(人)		13,913		区分	27年国調	22年国調	低開発	×	積立金取崩し額	272,282	578,836	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																	
	うち日本人(人)		13,836							第1次	200	208			指数表選定	×	実質単年度収支	-263,645	-566,994	実質赤字比率	-																																																																																																																																									
	うち日本人(人)		14,125								3.2	3.2					標準財政収入額	1,525,801	1,536,940			連結実質赤字比率	-																																																																																																																																							
	増減率(%)		-1.5							第2次	1,427	1,519			標準財政需要額	3,195,109				3,173,734	実質公債費比率			6.6																																																																																																																																						
	うち日本人(%)		-1.5								22.8	23.3					経常経費充当一般財源等	3,888,493	3,819,063			将来負担比率	-																																																																																																																																							
	増減率(%)		-1.5							4,636	4,787	歳入一般財源等			5,206,317	5,413,566																																																																																																																																														
面積(km ²)	11.60		74.0		73.5																																																																																																																																																									
人口密度(人/km ²)	1,225																																																																																																																																																													
世帯数(世帯)	5,573																																																																																																																																																													
職員の状況																																																																																																																																																														
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	13,141,745	12,314,145																																																																																																																																																			
	市区町村長	1	7,440		一般職員	143	412,698	2,886	うち公的資金	12,861,732	11,974,695																																																																																																																																																			
	副市区町村長	1	6,210		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	12,793	15,117																																																																																																																																																			
	教育長	1	5,810		うち技能労務職員	-	-	-	収益事業収入	600,000	600,000																																																																																																																																																			
	議会議長	1	3,450		教育公務員	-	-	-	土地開発基金現在高	386,135	386,135																																																																																																																																																			
	議会副議長	1	3,180		臨時職員	-	-	-	積立金	958,019	1,090,198																																																																																																																																																			
	議会議員	10	2,980		合計	143	412,698	2,886	現在高	95,471	95,384																																																																																																																																																			
						ラスバイレス指数				96.8	2,837,857	2,674,353																																																																																																																																																		
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">一般会計等の一覧 項番</th> <th style="width: 15%;">会計名</th> <th style="width: 15%;">事業会計の一覧 項番</th> <th style="width: 15%;">会計名</th> <th style="width: 15%;">公営企業(法適)の一覧 項番</th> <th style="width: 15%;">会計名</th> <th style="width: 15%;">公営企業(法非適)の一覧 項番</th> <th style="width: 15%;">会計名</th> <th style="width: 15%;">関係する一部事務組合等一覧 項番</th> <th style="width: 15%;">組合等名</th> <th style="width: 15%;">地方公社・第三セクター等一覧 項番</th> <th style="width: 15%;">団体名</th> <th style="width: 15%;">(※3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(4)</td> <td>国民健康保険特別会計</td> <td>(6)</td> <td>下水道事業会計</td> <td>(8)</td> <td>国民宿舍特別会計</td> <td>(9)</td> <td>福岡県市町村消防防具等公務災害補償組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>給食センター特別会計</td> <td>(5)</td> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td>(7)</td> <td>モーターボート競走事業会計</td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>福岡県自治会館管理組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>遠賀・中間地域広域行政事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>遠賀・中間地域広域行政事務組合(公共用地先行取得事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>福岡県自治振興組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>福岡県自治振興組合(公文書館事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>福岡県介護保険広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>福岡県介護保険広域連合(介護保険事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17)</td> <td>福岡県後期高齢者医療広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(18)</td> <td>福岡県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>														一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)	(1)	一般会計	(4)	国民健康保険特別会計	(6)	下水道事業会計	(8)	国民宿舍特別会計	(9)	福岡県市町村消防防具等公務災害補償組合(一般会計)				(2)	給食センター特別会計	(5)	後期高齢者医療特別会計	(7)	モーターボート競走事業会計			(10)	福岡県自治会館管理組合(一般会計)				(3)	地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計							(11)	遠賀・中間地域広域行政事務組合(一般会計)												(12)	遠賀・中間地域広域行政事務組合(公共用地先行取得事業特別会計)												(13)	福岡県自治振興組合(一般会計)												(14)	福岡県自治振興組合(公文書館事業特別会計)												(15)	福岡県介護保険広域連合(一般会計)												(16)	福岡県介護保険広域連合(介護保険事業特別会計)												(17)	福岡県後期高齢者医療広域連合(一般会計)												(18)	福岡県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)				
	一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番		会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)																																																																																																																																																
(1)	一般会計	(4)	国民健康保険特別会計	(6)	下水道事業会計	(8)	国民宿舍特別会計	(9)	福岡県市町村消防防具等公務災害補償組合(一般会計)																																																																																																																																																					
(2)	給食センター特別会計	(5)	後期高齢者医療特別会計	(7)	モーターボート競走事業会計			(10)	福岡県自治会館管理組合(一般会計)																																																																																																																																																					
(3)	地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計							(11)	遠賀・中間地域広域行政事務組合(一般会計)																																																																																																																																																					
								(12)	遠賀・中間地域広域行政事務組合(公共用地先行取得事業特別会計)																																																																																																																																																					
								(13)	福岡県自治振興組合(一般会計)																																																																																																																																																					
								(14)	福岡県自治振興組合(公文書館事業特別会計)																																																																																																																																																					
								(15)	福岡県介護保険広域連合(一般会計)																																																																																																																																																					
								(16)	福岡県介護保険広域連合(介護保険事業特別会計)																																																																																																																																																					
								(17)	福岡県後期高齢者医療広域連合(一般会計)																																																																																																																																																					
								(18)	福岡県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)																																																																																																																																																					

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。

※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。

※3: 地方公共団体が損失補償等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。

※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。

※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	1,228,403	14.3	1,228,403	32.6	普通税	1,228,403	100.0	-
地方譲与税	34,289	0.4	34,289	0.9	法定普通税	1,228,403	100.0	0
利子割交付金	2,312	0.0	2,312	0.1	市町村民税	639,337	52.0	-
配当割交付金	5,135	0.1	5,135	0.1	個人均等割	22,089	1.8	-
株式等譲渡所得割交付金	4,703	0.1	4,703	0.1	所得割	574,934	46.8	-
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	20,670	1.7	-
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-	法人税割	21,644	1.8	-
地方消費税交付金	239,444	2.8	239,444	6.4	固定資産税	447,863	36.5	-
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	425,174	34.6	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	39,902	3.2	-
自動車取得税交付金	13,022	0.2	13,022	0.3	市町村たばこ税	101,301	8.2	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	鉱産税	-	-	-
地方特別交付金	8,735	0.1	8,735	0.2	特別土地保有税	-	-	-
地方交付税	2,021,422	23.6	1,984,181	52.7	法定外普通税	-	-	-
普通交付税	1,984,181	23.2	1,984,181	52.7	目的税	-	-	-
特別交付税	37,241	0.4	-	-	法定目的税	-	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	入湯税	-	-	-
(一般財源計)	3,557,465	41.5	3,520,224	93.5	事業所税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	1,700	0.0	1,700	0.0	都市計画税	-	-	-
分担金・負担金	251,065	2.9	-	-	水利地益税等	-	-	-
使用料	222,846	2.6	-	-	法定外目的税	-	-	-
手数料	7,057	0.1	-	-	旧法による税	-	-	-
国庫支出金	1,020,447	11.9	-	-	合計	1,228,403	100.0	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	224,670	2.6	224,670	6.0				
都道府県支出金	361,098	4.2	-	-				
財産収入	38,069	0.4	18,916	0.5				
寄附金	13,235	0.2	-	-				
繰入金	386,105	4.5	-	-				
繰越金	189,398	2.2	-	-				
諸収入	779,491	9.1	77	0.0				
地方債	1,515,700	17.7	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	183,000	2.1	-	-				
歳入合計	8,568,346	100.0	3,765,587	100.0				

区分		平成30年度	平成29年度
徴収率	現・計	98.9	96.1
(%)	年	98.8	96.3
		98.9	95.0
		99.1	96.1
		99.0	96.3
		99.3	95.1

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	885,671	実質収支	63,777
下水道	185,532	再差引収支	-4,803
観光施設	98,955	加入世帯数(世帯)	1,929
上水道	-	被保険者数(人)	3,164
工業用水道	-	被保険者	79
国民健康保険	165,708	1人当り	保険税(料)収入額
その他	435,476		国庫支出金
			保険給付費
			331

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	114,203	1.4	9,862	114,203	
総務費	1,268,753	15.3	32,785	1,036,547	
民生費	1,992,419	24.1	8,034	1,117,839	
衛生費	694,133	8.4	-	574,603	
労働費	-	-	-	-	
農林水産業費	178,246	2.2	97,319	82,052	
商工費	312,855	3.8	54,092	251,709	
土木費	1,034,173	12.5	636,270	362,457	
消防費	288,995	3.5	57,145	279,498	
教育費	1,667,052	20.1	999,481	557,665	
災害復旧費	-	-	-	-	
公債費	732,928	8.8	-	545,155	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳入合計	8,283,757	100.0	1,894,988	4,921,728	

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	2,886,753	34.8	1,809,679	1,802,243	45.6
人件費	1,135,580	13.7	908,202	901,172	22.8
うち職員給	758,759	9.2	598,768	-	-
扶助費	1,018,245	12.3	356,322	355,916	9.0
公債費	732,928	8.8	545,155	545,155	13.8
元利償還金	732,912	8.8	545,139	545,139	13.8
内訳	688,100	8.3	513,469	513,469	13.0
うち元金	44,812	0.5	31,670	31,670	0.8
うち利子	16	0.0	16	16	0.0
一時借入金利子	3,502,016	42.3	2,909,501	2,086,250	52.8
その他の経費	1,232,817	14.9	914,372	680,552	17.2
物件費	52,968	0.6	26,765	26,765	0.7
維持補修費	1,193,862	14.4	1,097,117	943,779	23.9
補助費等	442,261	5.3	442,261	423,847	10.7
うち一部事務組合負担金	700,139	8.5	606,952	435,154	11.0
繰入金	277,514	3.4	264,279	-	-
積立金	44,716	0.5	16	-	-
投資・出資金・貸付金	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	1,894,988	22.9	202,548	-	-
投資的経費計	48,020	0.6	35,134	-	-
うち人件費	1,894,988	22.9	202,548	-	-
普通建設事業費	895,766	10.8	26,573	-	-
うち補助	996,659	12.0	175,912	-	-
うち単独	-	-	-	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳入合計	8,283,757	100.0	4,921,728	-	-

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成30年度 福岡県芦屋町

一般会計等の財政状況（単位：百万円）

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	8,302	8,020	283	199	386	8,367	
2 給食センター特別会計	135	133	2	2	74	-	
3 地方独立行政法人芦屋中央病院買付金特別会計	258	258	0	-	-	5,006	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							

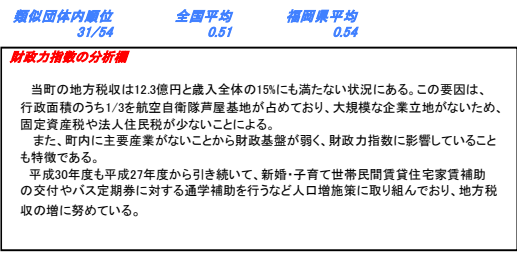
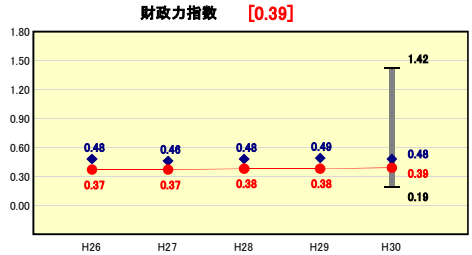
(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	13,913人 (H31.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	13,836人 (H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	11.60km ²	実質公債費比率	6.6 %
歳入総額	8,568,346千円	将来負担比率	- %
歳出総額	8,283,757千円	市町村類型	H26 IV-2 H27 III-2 H28 III-2
実質収支	200,593千円	(年度毎)	H29 III-2 H30 III-2
標準財政規模	3,694,040千円		
地方債現在高	13,141,745千円		

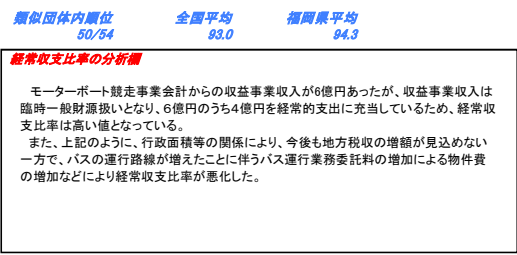
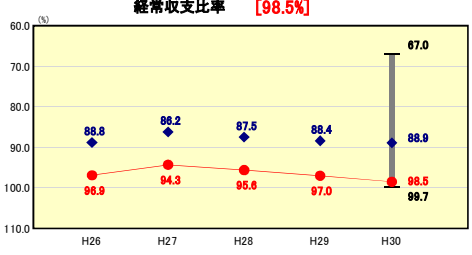


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表示しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表示しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

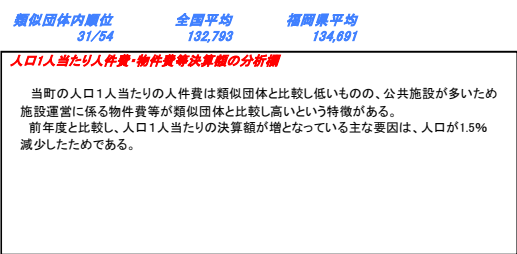
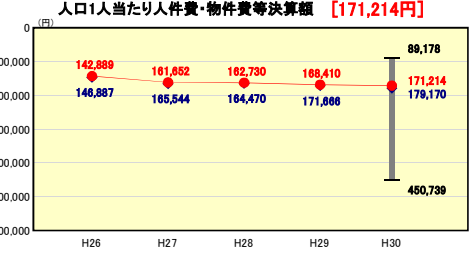
財政力



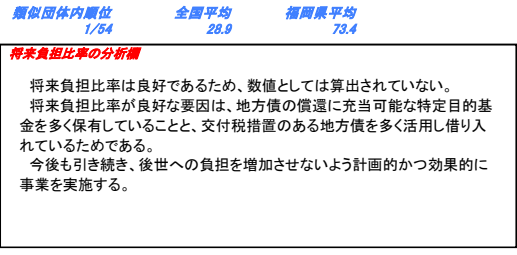
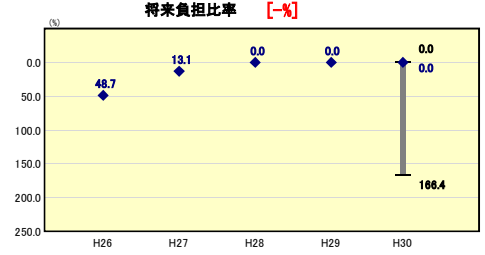
財政構造の弾力性



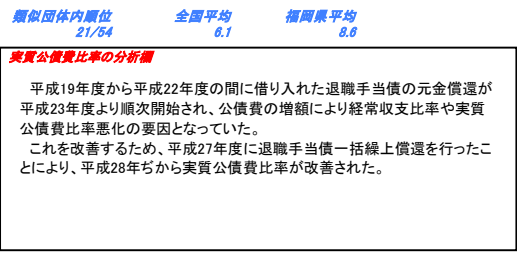
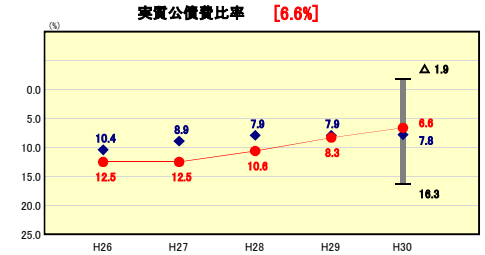
人件費・物件費等の状況



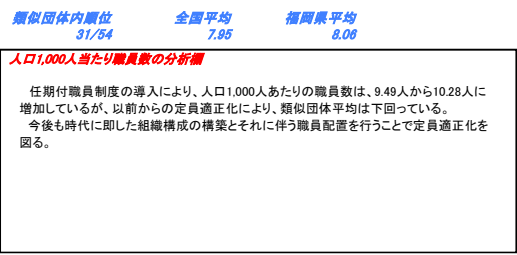
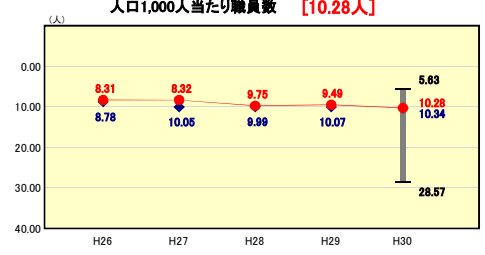
将来負担の状況



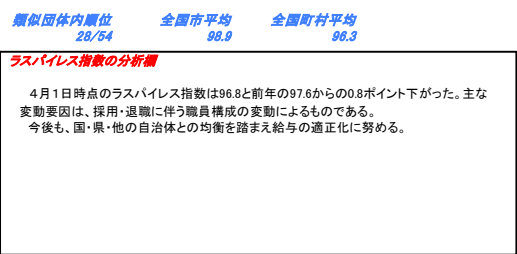
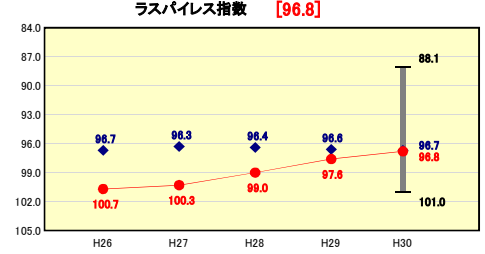
公債費負担の状況



定員管理の状況



給与水準 (国との比較)



(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

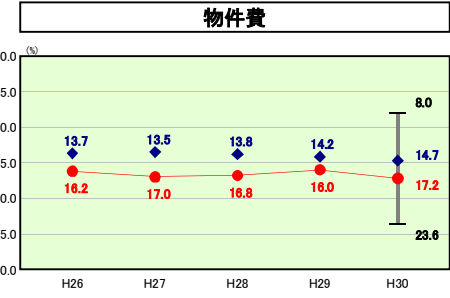
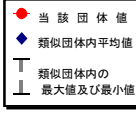
平成30年度

福岡県芦屋町

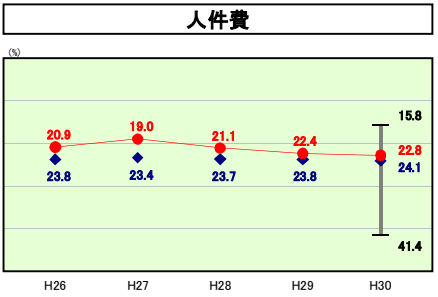
経常収支比率の分析

人口	13,913	人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	13,836	人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	11.60	k㎡	実質公債費比率	6.6	%
歳入総額	8,568,346	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	8,283,757	千円	市町村類型	H26 IV-2 H27 III-2 H28 III-2	
実質収支	200,593	千円	(年度毎)	H29 III-2 H30 III-2	
標準財政規模	3,694,040	千円			
地方債現在高	13,141,745	千円			

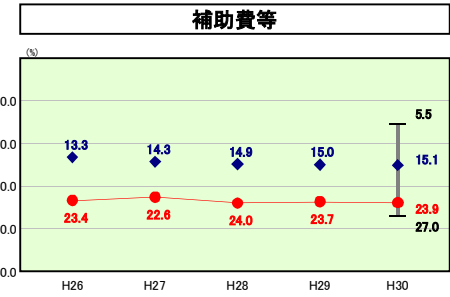
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



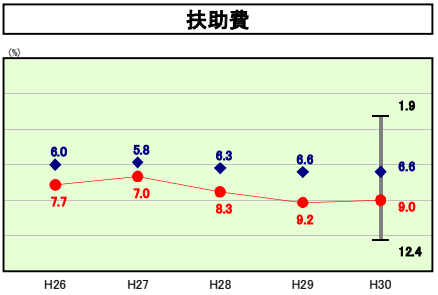
物件費の分析欄
 物件費の決算額及び経常収支比率は平成26年度から平成29年度まではほぼ同等に推移しているものの、他団体と比較すると大き割合を占めている。この要因は公共施設の多さにある。各施設の維持管理費が計上されるほか、指定管理料等が物件費として計上されている。
 平成30年度については、バスの運行路線が増えたことに伴いバス運行業務委託料が増加したことなどにより、前年と比較して増加している。
 引き続き、事務事業の見直し等を進め、経常経費の圧縮に努める。



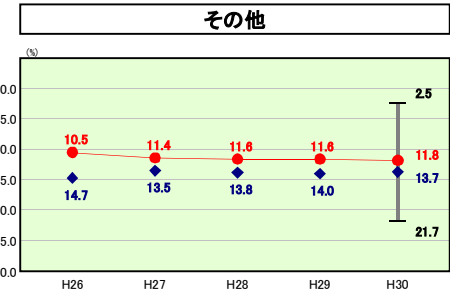
人件費の分析欄
 類似団体と比較して人件費の割合が低くなっている要因として、ごみ処理業務、し尿処理業務、消防業務を一部事務組合で行っており、これらに関する人件費を補助費等として計上しているためである。
 平成30年度については、職員退職基金の繰入金等の充当財源が減少したことなどに伴い、前年度と比較し増加している。
 今後も定員及び給与の適正化に取り組み人件費の抑制に努める。



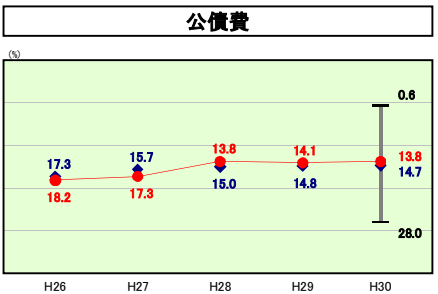
補助費等の分析欄
 他団体と比較すると、経常収支比率は高い状況である。
 これは、公営企業会計である下水道事業会計への補助金が多額になっていること、ごみ・し尿処理事業や消防事業等を一部事務組合である遠賀・中間地域広域事務組合で行っていることによるものである。



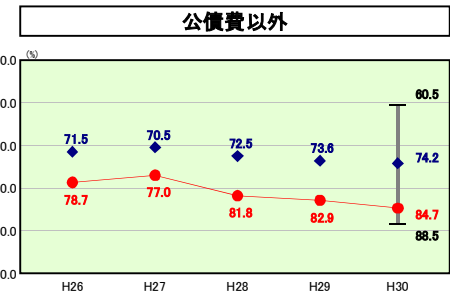
扶助費の分析欄
 扶助費について、町独自の子ども医療費の助成を行っているため例年高い水準にある。また、近年は障害者自立支援給付費が増加傾向となっている。
 平成30年度については、自立支援給付費補助金や保育料等の充当財源が増加したことなどに伴い、前年と比較し減少している。
 今後も、必要な施策は維持しつつ、財政を圧迫することのないよう福祉施策の検討が必要である。



その他の分析欄
 その他は、他団体と比較して、良好な状態である。
 その他の経費として支出されている主な内容は、特別会計や公営企業会計への繰入金(4.4億円)である。
 良好な状態ではあるが、国民健康保険特別会計への赤字補填財源繰入金、平成30年度は5千万円と財政を圧迫する要因となっている。赤字補填分をどのように解消していくかが今後の課題である。



公債費の分析欄
 平成27年度までの公債費が高い要因として、平成19年度から平成22年度に借り入れた退職手当債の元金償還が平成23年度より順次開始したことが挙げられる。
 退職手当債は交付税措置がなく、経常収支比率や実質公債費比率等の財政指標を悪化させるため、平成27年度に一括繰上償還を行った。これにより平成28年度より公債費が大幅に減少した。
 平成30年度については、病院建替えに伴う公債費負担金や住宅使用料の充当財源が増加したことなどに伴い、前年と比較し減少している。



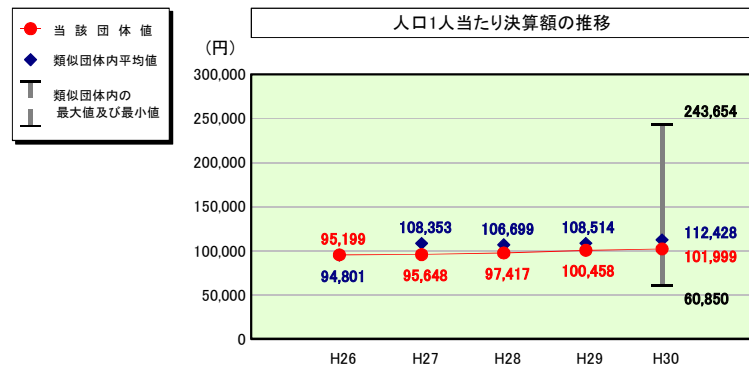
公債費以外の分析欄
 公債費以外の経常収支比率は類似団体と比較して、高い水準である。
 これは、当町は一部事務組合による運営や下水道普及率が100%に達しているため補助金等が高い水準であること、レジャープールや芦屋釜の里等の特色ある公共施設を整備しており、維持管理のための物件費が高い水準であること等が要因である。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成30年度

福岡県芦屋町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

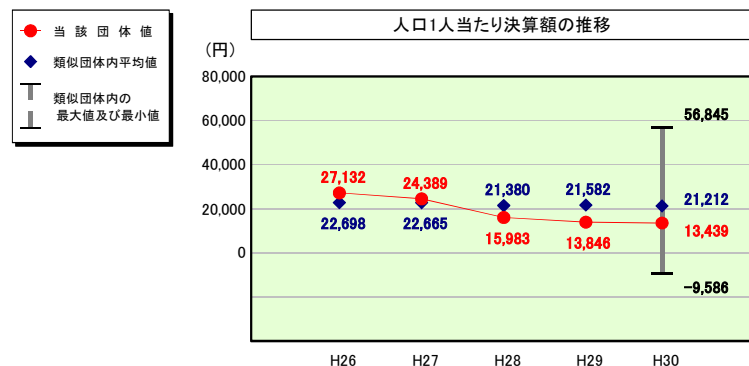
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	1,135,580	81,620	89,955	▲ 9.3
賃金(物件費)	130,863	9,406	10,661	▲ 11.8
一部事務組合負担金(補助費等)	170,226	12,235	13,679	▲ 10.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	958	69	972	▲ 92.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	32	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	20,749	1,491	4,100	▲ 63.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	48,020	3,451	1,979	74.4
▲退職金	▲ 87,288	▲ 6,274	▲ 8,950	▲ 29.9
合計	1,419,108	101,999	112,428	▲ 9.3

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	10.28	10.34	▲ 0.06
ラスバイレス指数	96.8	96.7	0.1

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

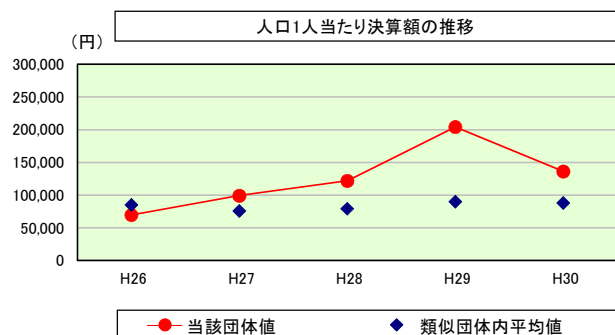


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	777,557	55,887	52,443	6.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	194,621	13,988	14,640	▲ 4.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	67,956	4,884	3,738	30.7
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	1,128	-
一時借入金利息 (同一団体に於ける会計間の現金運用に係る利子は除く)	16	1	7	▲ 85.7
▲特定財源の額	▲ 232,419	▲ 16,705	▲ 2,426	588.6
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 620,754	▲ 44,617	▲ 48,318	▲ 7.7
合計	186,977	13,439	21,212	▲ 36.6

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H26	1,025,280	69,832	31.2	85,205	14.5	16.7
うち単独分	755,801	51,478	20.8	38,847	13.7	7.1
H27	1,432,411	99,273	42.2	75,972	▲ 10.8	53.0
うち単独分	1,097,403	76,055	47.7	40,712	4.8	42.9
H28	1,750,652	121,971	22.9	79,466	4.6	18.3
うち単独分	1,258,705	87,696	15.3	44,645	9.7	5.6
H29	2,886,185	204,332	67.5	90,072	13.3	54.2
うち単独分	2,108,886	149,302	70.2	46,083	3.2	67.0
H30	1,894,988	136,203	▲ 33.3	88,328	▲ 1.9	▲ 31.4
うち単独分	996,659	71,635	▲ 52.0	49,013	6.4	▲ 58.4
過去5年間平均	1,797,903	126,322	26.1	83,809	3.9	22.2
うち単独分	1,243,491	87,233	20.4	43,860	7.6	12.8

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

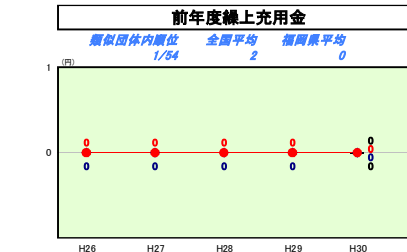
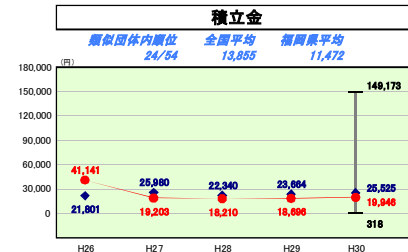
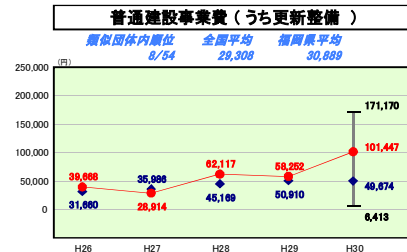
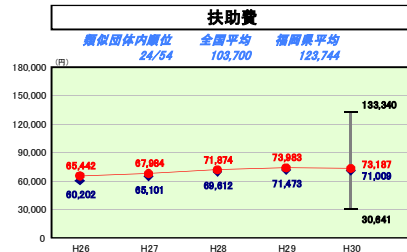
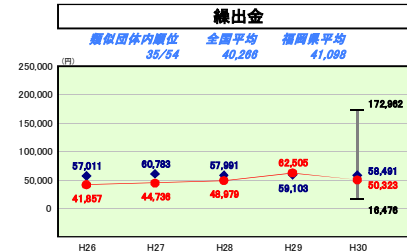
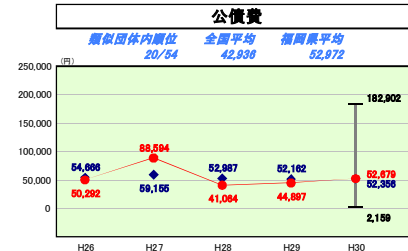
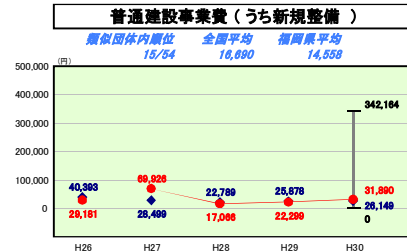
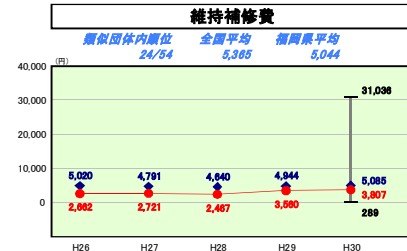
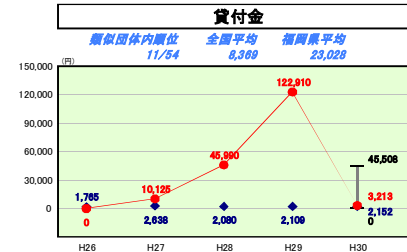
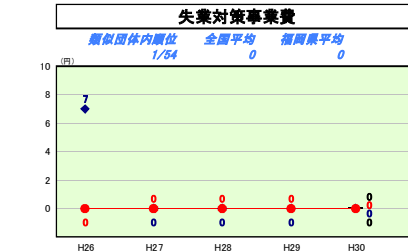
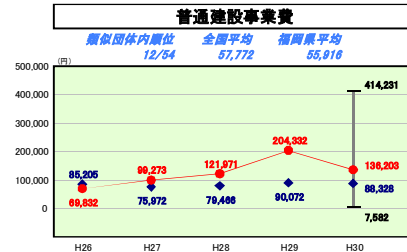
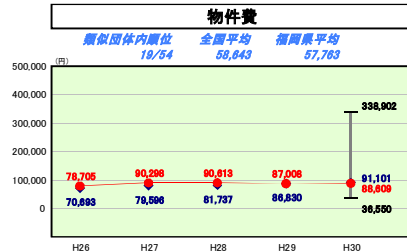
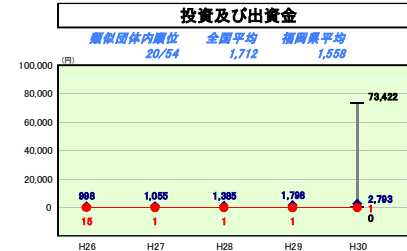
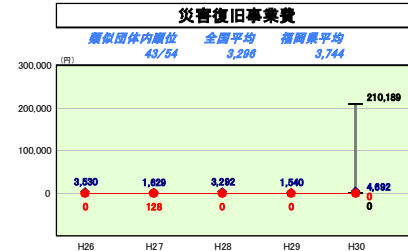
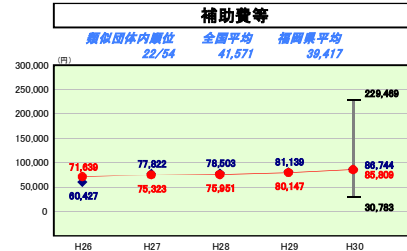
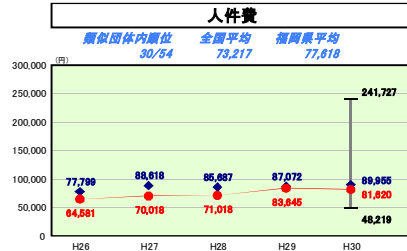
平成30年度

福岡県芦屋町

人口	13,913 人(831.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	13,836 人(831.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	11.60 km ²	実質公債費比率	6.6	%
歳入総額	8,568,346 千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	8,283,767 千円	市町村類型	H26 IV-2 H27 III-2 H28 III-2	
実質収支	200,583 千円	(年度毎)	H29 III-2 H30 III-2	
標準財政規模	3,694,040 千円			
地方債現在高	13,141,745 千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

扶助費、普通建設事業費、公債費、貸付金は、類似団体と比較して一人当たりのコストが高い状況となっている。また、貸付金について、病院の地方独立行政法人化に伴い、病院に係る地方債を貸し付けることとなったため、平成27年度より計上されている。

- ①扶助費：町独自の子ども医療費の助成を行っているため例年高い水準にある。また、近年は、障害者自立支援給付費が増額傾向となっている。
- ②普通建設事業費：総合体育館改修事業、新後水田地新築事業、多目的グラウンド周辺整備事業等の大型事業の実施によるものである。
- ③公債費：病院建替えに伴う過疎対策事業債、病院事業債等の元利償還が開始されたことにより、前年比よりも高くなり、また類似団体よりも高くなっている。
- ④貸付金：平成28年度、平成29年度は病院建替えに係る地方債の借入額により特に高くなっている。平成30年度は医療機器整備によるものである。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

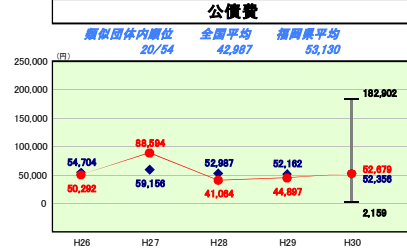
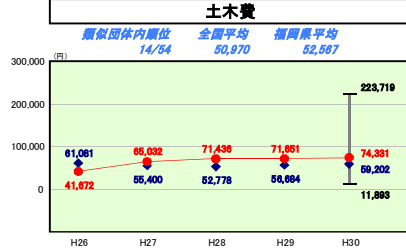
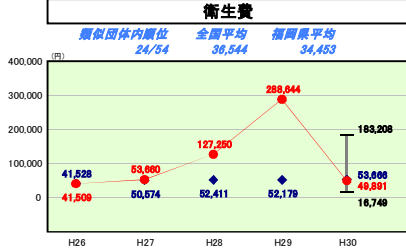
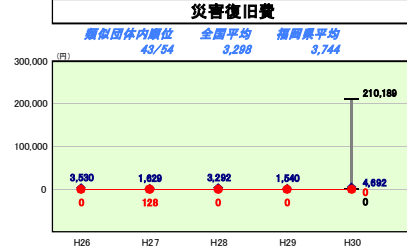
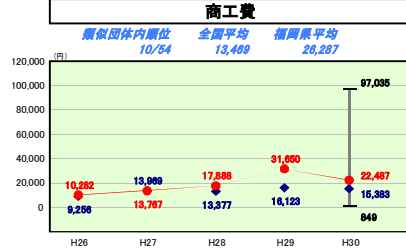
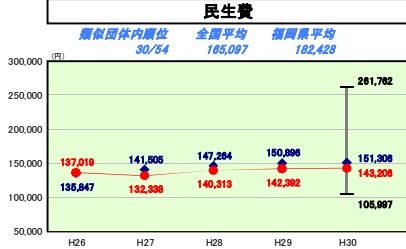
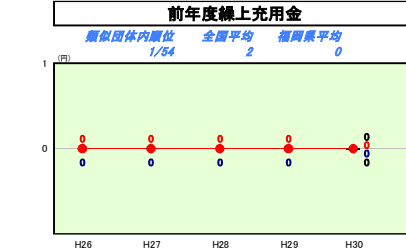
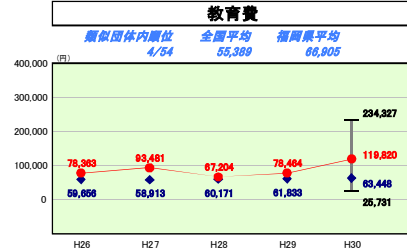
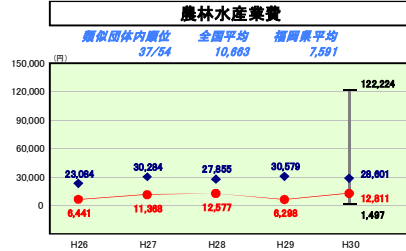
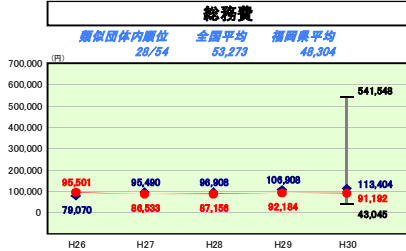
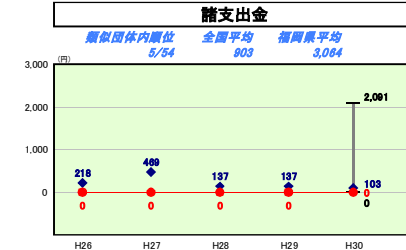
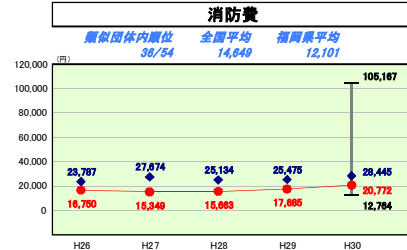
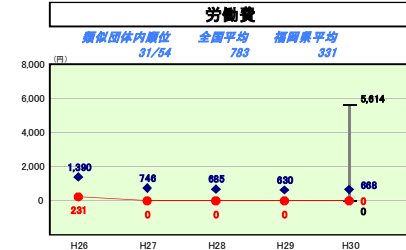
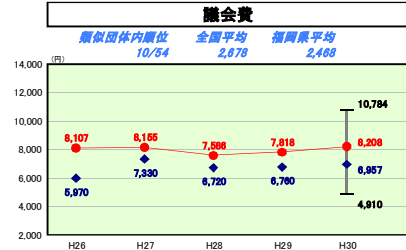
平成30年度

福岡県芦屋町

人口	13,913人(831.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	13,836人(831.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
職員	11.60千人	実質公債費比率	6.6	%
歳入総額	8,568,346千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	8,283,767千円	市町村類型	H26 IV-2 H27 III-2 H28 III-2	
歳入歳出	200,583千円	(年度毎)	H29 III-2 H30 III-2	
実質収支	3,694,040千円			
標準財政規模	3,694,040千円			
地方債現在高	13,141,745千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



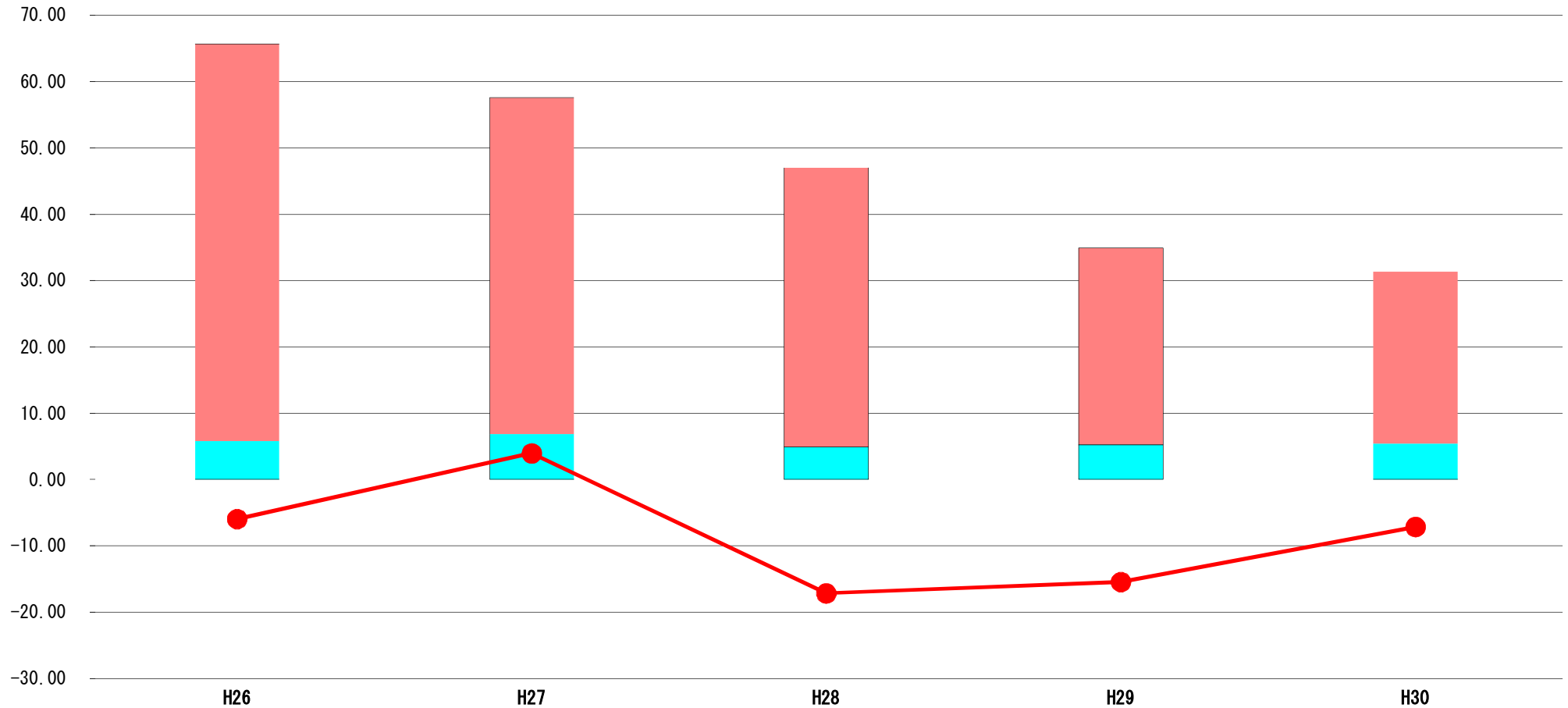
目的別歳出の分析
 議会費、商工費、土木費、教育費、公債費は、類似団体と比較して一人当たりのコストが高い状況となっている。
 ①議会費：類似団体と比較し議員報酬の額が高いため、高くなっている。また、議会放送機器の更新により前年度よりも高くなっている。
 ②商工費：平成29年度は国民宿舎の大規模改修実施に伴う繰上金に増額により特に高くなっている。
 ③土木費：新後水団地新築事業や丸の内団地改善事業等の大型事業の実施により高くなっている。
 ④教育費：総合体育館改修事業、多目的グラウンド周辺整備事業等の大型事業の実施により増加している。
 ⑤公債費：病院建替えに伴う過疎対策事業債、病院事業債等の元利償還が開始されたことにより、前年度よりも高くなり、また類似団体よりも高くなっている。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成30年度

福岡県芦屋町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30
 財政調整基金残高		59.82	50.73	42.08	29.67	25.93
 実質収支額		5.82	6.86	4.93	5.23	5.43
 実質単年度収支		▲ 5.94	3.97	▲ 17.14	▲ 15.43	▲ 7.14

分析欄

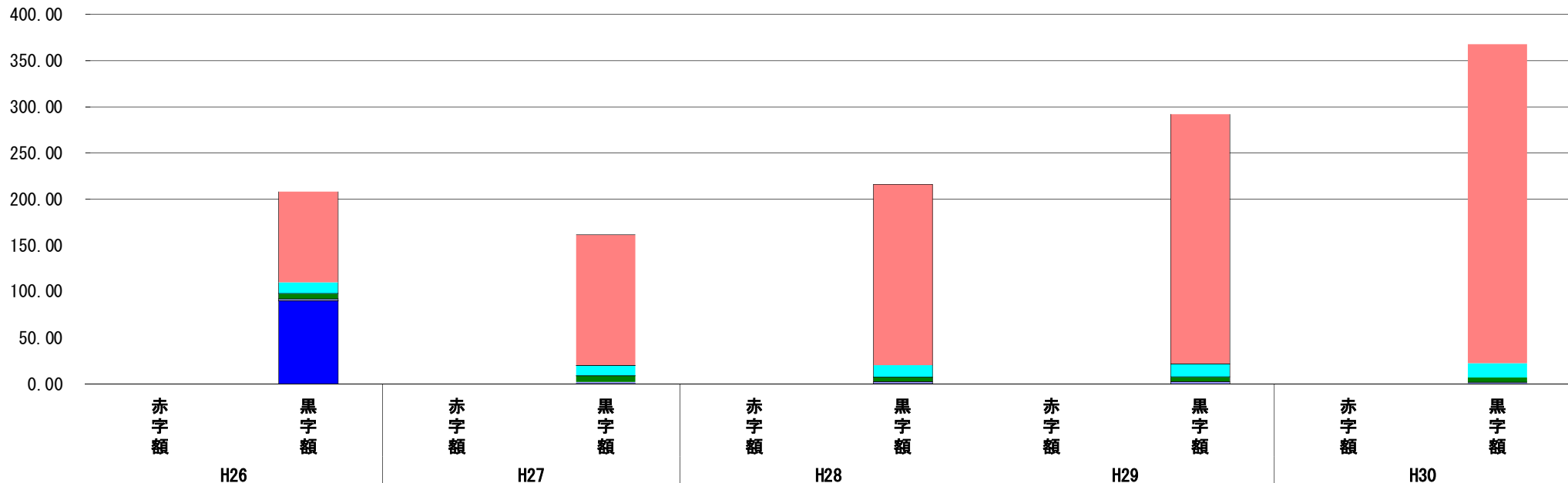
財政調整基金残高の標準財政規模比は年々減少している。これは、主に単独ハード事業を実施するためには基金を取り崩しているためである。
 また、実質単年度収支は、平成28年度、平成29年度の財政調整基金の取崩し額が特に大きかったため、マイナスとなっている。平成30年度についても実質単年度収支はマイナスであるものの、前年に比べ財政調整基金の取崩し額が小さかったため、前年よりも上昇した。
 令和2年度以降、公共施設の整備等については特定目的基金による対応を行い、財政調整基金の大幅な取り崩しを抑制し、実質単年度収支比率の改善を図る。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成30年度

福岡県芦屋町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H26	H27	H28	H29	H30
モーターボート競走事業会計		98.20	141.30	195.73	270.03	345.09
下水道事業会計		12.05	11.24	13.08	13.94	15.33
一般会計		5.75	6.80	4.88	5.17	5.37
国民健康保険特別会計		1.96	1.99	2.29	2.53	1.72
後期高齢者医療特別会計		0.17	0.18	0.15	0.18	0.20
給食センター特別会計		0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
国民宿舎特別会計		0.23	0.05	0.14	0.00	0.00
地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計		-	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		89.91	-	-	-	-

分析欄

連結実質赤字比率については毎年黒字を維持している。
 しかしながら、国民健康保険特別会計への赤字補填財源繰出として、平成26年度は8千万円、平成27年度は5千万円、平成28年度は6千万円、平成29年度は3千万円、平成30年度は5千万円と一般会計からの繰出が多額になっているため、国保会計の赤字対策が今後の課題となる。
 また、モーターボート競走事業会計は、近年スマートフォン等による電話投票の売上げやモーニングレースが好調であり、標準財政規模比は良好な値となっている。

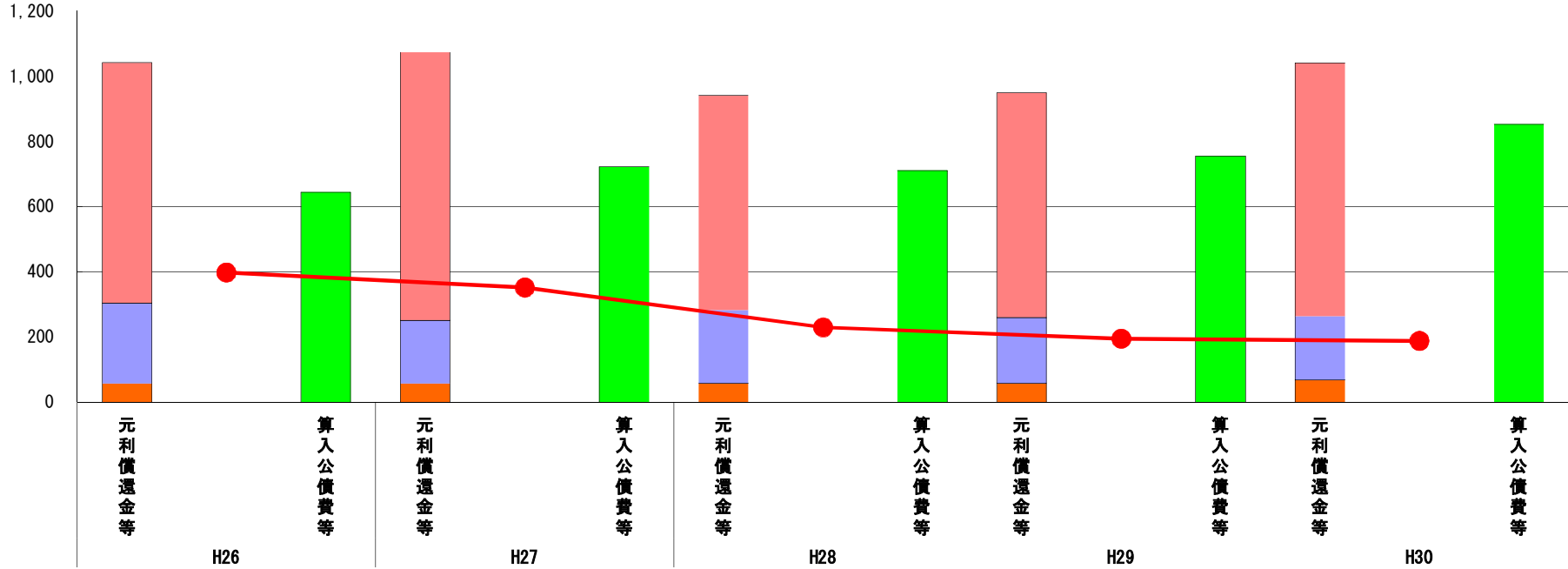
※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

福岡県芦屋町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
元利償還金等 (A)	元利償還金		738	823	659	690	778
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		247	194	224	202	195
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		57	57	58	58	68
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		-	-	-	-	0
算入公債費等 (B)	算入公債費等		644	722	711	755	853
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		398	352	230	195	188

分析欄

平成19年度から平成22年度の間借り入れた退職手当債の元金償還が平成23年度より順次開始したため、元利償還金額は年々増加し、経常収支比率や実質公債費比率を悪化させる要因となっていた。
 このため、平成27年度に退職手当債の一括繰上償還を行い、平成28年度から元利償還金を減少させることで実質公債費比率が改善された。
 また、平成30年度に病院建替えに伴う地方債等の償還開始により元利償還金が増加したが、過疎対策事業債の元利償還金の増加などに伴い算入公債費等も増加したため、実質公債費比率を悪化していない。

※1 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 (参考)

		年度	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末
※2 減債基金積立状況等	減債基金残高(注)		-	-	-	-	-
	減債基金積立相当額		-	-	-	-	-

分析欄

該当なし

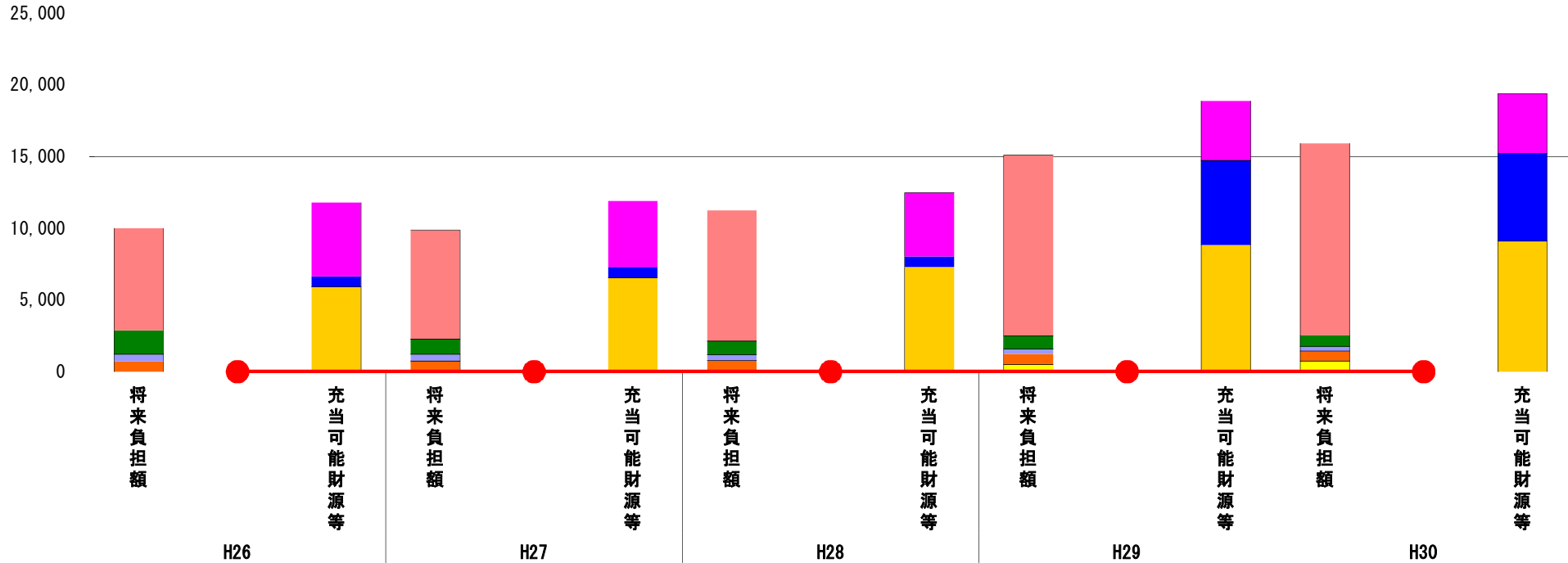
(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。
 減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

福岡県芦屋町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		7,111	7,588	9,095	12,585	13,373
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		1,664	1,055	962	930	778
	組合等負担等見込額		502	464	405	350	328
	退職手当負担見込額		724	763	779	730	688
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	502	754
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能財源等 (B)	充当可能基金		5,149	4,583	4,435	4,123
充当可能特定歳入			713	757	722	5,890	6,128
基準財政需要額算入見込額			5,932	6,554	7,316	8,849	9,095
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 1,792	▲ 2,026	▲ 1,231	▲ 3,765	▲ 3,460

分析欄

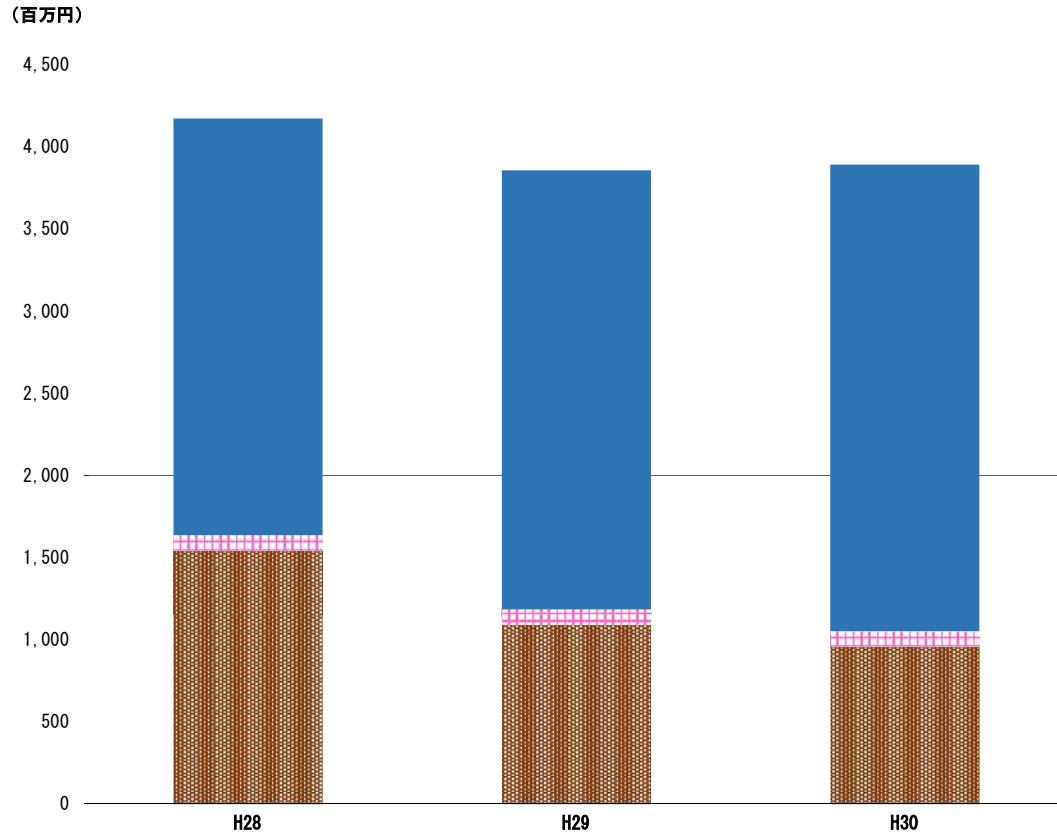
地方債の現在高が増加している理由は、国の制度により臨時財政対策債の借入れを行っていることと、投資的事業に地方債を活用していることが挙げられる。特に、平成28年度、平成29年度は病院建替えに伴い、地方債の借入額が多額となっている。

なお、投資的事業に充当する地方債は、主に過疎対策事業債を活用しているため、基準財政需要額算入見込額が高い水準にあることが当町の特徴でもある。

現在は将来負担額を充当可能財源等が上回っており、良好な状態である。今後も後世への負担を増加させないように計画的かつ効率的に事業を実施する。

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



区分	年度	H28	H29	H30
財政調整基金		1,540	1,090	958
減債基金		95	95	95
その他特定目的基金		2,538	2,674	2,838
競艇収益まちづくり基金		801	1,002	1,202
総合体育施設建設準備基金		716	717	718
町営住宅基金		292	292	292
職員退職基金		350	301	274
子ども医療費補助助成事業基金		175	159	143
基金残高合計		4,173	3,860	3,891

平成30年度 福岡県芦屋町

基金全体

(増減理由)
 財政調整基金については、主にハード事業を実施するため2億7千万取り崩しており減少している。
 その他特定目的基金については、増加している。主な増減内容は、競艇収益金を財源とした競艇収益まちづくり基金への2億円の積み立てや、職員の退職に伴う職員退職基金からの4千万円の取り崩しである。

(今後の方針)
 今後も競艇収益金を財源に競艇収益まちづくり基金へ毎年2億円積み立てていく予定である。また、公共施設の整備等については、財政調整基金を取り崩すのではなく、特定目的基金による対応を行っていく方針である。

財政調整基金

(増減理由)
 ここ数年は大型事業が続いており、単独ハード事業を実施するため、基金の取崩し額が大きくなった。

(今後の方針)
 公共施設の整備等については特定目的基金による対応を行い、財政調整基金の大幅な取崩しを抑制する。目標としては、基金残高が5億円を維持するよう努める。

減債基金

(増減理由)
 利息収入のみで増減はない。

(今後の方針)
 特になし。

その他特定目的基金

(基金の使途)
 競艇収益まちづくり基金：モーターボート競走事業の収益金を原資とし、将来にわたり福祉・教育分野において持続可能なまちづくりに資するため。
 まちづくり支援自動販売機基金：多くの人々がまちづくりに貢献できる芦屋町まちづくり支援自動販売機の利用を通じてもたらされる寄付金を、まちづくり整備及び地域コミュニティ醸成事業に必要な資金に充てるため。
 松本教育振興資金：芦屋町の将来を担う子どもたちの教育振興に資するため。

(増減理由)
 過疎地域に指定されていることで、過疎対策事業債（ソフト事業）を活用し、様々な事業を実施しているが、過疎対策事業債が令和2年度までの予定である。令和3年度以降も継続した取り組みを行うために、平成25年度に「競艇収益まちづくり基金」を設置した。平成29年度、平成30年度ともに競艇収益金を財源に2億円積み立てている。
 また、職員の退職に伴い、職員退職基金を平成29年度は5千万円、平成30年度は4千万円取り崩している。

(今後の方針)
 今後も競艇収益金を財源に競艇収益まちづくり基金へ毎年2億円積み立てていく予定である。公共施設の整備等については、財政調整基金を取り崩すのではなく、特定目的基金による対応を行っている方針である。